

神奈川県作業療法士会平成17年度第2回理事会議事録

| 日 時：平成17年6月14日 18:50～21:15 | 場 所：神奈川県作業療法士会事務所 |
|--|--|
| 出席者：長谷川会長 鶴見 清水 錠内 浅海 亀ヶ谷 作田 鈴木 長谷 松本 三川 田中 理事外：佐藤 岩野 澤口 山田 鳥畑 野本 | |
| 議 題 | 内 容 |
| 1. 会長挨拶 2. 各部報告 報統計部 (松藤) | 1.平成17年度活動計画 継続 会員データの管理 会員実態調査の実施 県士会活動内容のデータベース化(都道府県作業療法連絡協議会提出用) 新規 県士会会員情報のデータベースの構築 財務部・事務局と連携し新たなデータベースを構築する。 ・ファイルメーカー(現在財務部で使用) 病院ごとに発送可 ・アクセス 発送は個人発送のみ それぞれ利点欠点ある <意見> 錠内：経費の違いはどのくらいになるか？ 長谷(財務)：個人発送になると財政的に難しい。 個人会員数：約1000通 所属施設数：約700通 松本(広報)：個人宛に発送となると年間約70万円増加。 錠内：予算案を上げ、具体的に検討を進めていく。 OT協会会員情報システムモデル事業参加に向けた情報収集 H18年度以降の事業参加にむけ情報収集と課題の整理 会員データの管理体制の検討 PCの保管場所が現在部長所属職場であるが県士会事務所に移動したい <意見> 清水：PC内の情報内容は何か？ 松藤：把握している会員の情報すべてを入力している。 清水：盗難の可能性もあるので、早急に保管場所を変更したほうがよい。 松藤：早急に対応する。 2.新部員 大西 正二(横浜市西部地域療育センター) 西 則彦(横浜市総合リハセンター) |

| | |
|--|--|
| <p>第10回神奈川県作業療法学会 会計報告 (代理 長谷)</p> <p>・ 広報部 対外広報班 (岩野)</p> | <p style="text-align: right;">承認</p> <p>桑田 哲人 (反町福祉機器支援センター)</p> <p>3.その他 印刷ラベルについて以下指定の用紙を用意してほしい。 エーワン株式会社 品番 228916 ラベルサイズ : 83.8×42.3mm</p> <p>別紙報告書あり 収入 1,418,312 円 支出 1,003,515 円 繰越金 414,797 円</p> <p>学会参加総数 : 325 名 ・参加費を半額にしたため、昨年 (繰越金 696,310 円) よりも繰越金が減少している。 ・学会に関する文書関係書類・演題等データを CD-ROM (3 セット) に保存。各会長・事務局・次学会長が管理する。 <意見> 錠内 : 県学会のデータは、県士会員であれば貸し出し可能か? 長谷 : 可能と考える。 清水 : 繰越金は一度事務局に入れたほうがよいだろう。 長谷 : 事務局に入金する。 錠内 : 会員からの声として、県学会毎年開催できないか? というものがあるが。 長谷 (財務) : 学会費用を 2 年間の積立 (1 年 20 万円) で行っている。会員数が増加しないと財政的に難しいと考える。 錠内 : 学会長は 1 年前に決めたほうが良いか? 長谷川 : 学会長は早めに決まったほうが良いが、決まらないのが現状。毎年開催が良いが、財政的にも現状では難しい。次県学会長はなるべく早い時期に決定していきたい。 錠内 : 遅くとも今年度 9 月に決定。まず三役会で検討する。</p> <p>1.県士会パンフレット作成に関して デザイン・文言 (最終案) 承認 <意見> 浅見 : 認知症は OT の対象のどこに入るか? 長谷 : 「身体の障害に対して」<u>脳の活性化</u> <u>認知機能の活性化</u>に変更しここに含めてはどうか 印刷会社・部数 安価な印刷会社 (なまためプリント) あり。 5000 部で 136,500 円 (比較 : 福島印刷 3000 部 138,600 円、5000 部 152,250 円) 発注先 印刷会社 : なまためプリント 部数 : 5000 部</p> <p>2 . YOTEC YOTEC の HP に神奈川県作業療法士会の PR 文と写真を掲載</p> |
|--|--|

| | |
|---|---|
| <p style="text-align: center;">福祉用具検討委員会（亀ヶ谷）</p> | <p>したい。 承認 錠内：県士会の名前で出すので、文書を作成し事務局に提出。 3.健康生活展 実行委員会参加予定（開催日程未定） 4.OT 推進月間（2005.8.7） 体験デーの公開講座の講師について。 担当者より清水副会長に依頼済み。 午前・午後で一般向けに分野を分けずに、1名の講師で同じ内容を実施する。</p> <p>別紙資料あり</p> <p>1.他職能団体からの専門相談員派遣等について ・神奈川県ともしびセンター「福祉用具専門相談員」（来所した方の相談を受ける） 派遣状況：毎月1・2・4土曜日（月3回） 14:00 から 16:00 毎回 OT1 名派遣。 ・神奈川県ともしびセンター「福祉用具等適合評価事業」（在宅または施設に訪問） 派遣状況：不定期 概ね月1回程度</p> <p>2.研修会の進捗状況 ・開催予定 高齢者の車椅子シーティング講習会（仮題） 講師：首都大学東京 木之瀬 隆先生 年内の開催を予定 作業療法士が知っておきたい住宅改修の基礎知識（仮題） 講師：首都大学東京 橋本 美芽先生 年度末開催予定</p> <p><意見> 浅見：推進月間の公開講座は？ 亀ヶ谷：モデル事業の応募の結果待ち。 決定次第推進月間と同時開催予定。 清水：シーティング講習会では、メーカーに依頼するのか？ 亀ヶ谷：昨年は3つのブース（クッション・モジュールタイプ・ティルトリクライニング）に各々業者を配置した。 具体的な内容については現在検討中。 メーカーに依頼の仕方はどうするか？ 清水：メーカーと販売所は違う。 メーカー（考え方を持っている）とディスカッションできると良いだろう・ 浅見：1つのメーカーは避ける。複数に依頼する。 金銭的な授受がなければメーカーを呼ぶのは良いだろう。 浅見：明日からできる内容やちょっとした工夫、 材料の購入先や工房等の情報の入手方法も良いだろう。</p> |
|---|---|

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------|---|-------------------|--------|----|------------------|--------|----|-------------|--------|----|---------------|--------|----|-------------|--------|----|---------------------|-----------|--|---------------|-----------|--|
| <p>ウェブサイト管理委員会（作田）</p> | <p>亀が谷：手作りや姿勢を評価する力学運動学等の内容も考えていきたい。</p> <p>1.提案事項 各部・各委員会便りの県士会サイトへの掲載 県士会ニュースに同封した各部・各委員会だより 配布後のPDFでのサイトへの掲載 その他：定期的な情報の発信など 単発（不定期）の情報の発信は{お知らせのページ}や「講習会・研修会」のページへ掲載する。</p> <p>2.投稿コーナーの開設 容易に投稿できるフォームメールを設定する。 現在、投稿フォーム「こっそりと一言」を設定している。 これを拡大して各部・各委員会からのメッセージを収集するためのツールとする。</p> <p><意見> 錠内：「こっそりと一言」はどのくらい投稿されているか？ 作田：転送可能かを入れたら減少。 浅見：Web委員と発信者間のみのもにならないよう、関係する委員会に転送することは良いのではないか。 作田：投稿フォームに選択肢（例；広報部「会員の声」など）を入れるかどうかの意見がほしい。 選択肢を入れることで、投稿者が意図を持って書き込んでくれると良いと考えている。 メーリングリストで意見や要望を入れてほしい。</p> <p>3.その他 各部・各委員会の紹介ページの原稿（6委員会分）掲載済み。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>学術部（三川）</p> | <p>1. 新部員</p> <table border="0"> <tr> <td>幅田 智也（北里大学医療衛生学部）</td> <td>現職者講習会</td> <td>身障</td> </tr> <tr> <td>渡邊 誠（北里大学医療衛生学部）</td> <td>現職者講習会</td> <td>身障</td> </tr> <tr> <td>西前 英紀（藤沢病院）</td> <td>現職者講習会</td> <td>精神</td> </tr> <tr> <td>富田 浩史（富士見台病院）</td> <td>現職者講習会</td> <td>精神</td> </tr> <tr> <td>佐藤 拓也（武田病院）</td> <td>現職者講習会</td> <td>精神</td> </tr> <tr> <td>長岡 まり（介護老人保健施設 野比苑）</td> <td>新人教育プログラム</td> <td></td> </tr> <tr> <td>菊池 美恵（相模が丘病院）</td> <td>新人教育プログラム</td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: right;"><u>承認</u></p> <p>2. 生涯教育講座（県から助成金をもらっている講座） 8月28日（日）会場：県立保健福祉大学 テーマ「医療福祉関連職種のためのコーチング技術 - 連携のためのコミュニケーション・スキル」 参加費徴収について</p> | 幅田 智也（北里大学医療衛生学部） | 現職者講習会 | 身障 | 渡邊 誠（北里大学医療衛生学部） | 現職者講習会 | 身障 | 西前 英紀（藤沢病院） | 現職者講習会 | 精神 | 富田 浩史（富士見台病院） | 現職者講習会 | 精神 | 佐藤 拓也（武田病院） | 現職者講習会 | 精神 | 長岡 まり（介護老人保健施設 野比苑） | 新人教育プログラム | | 菊池 美恵（相模が丘病院） | 新人教育プログラム | |
| 幅田 智也（北里大学医療衛生学部） | 現職者講習会 | 身障 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 渡邊 誠（北里大学医療衛生学部） | 現職者講習会 | 身障 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 西前 英紀（藤沢病院） | 現職者講習会 | 精神 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 富田 浩史（富士見台病院） | 現職者講習会 | 精神 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 佐藤 拓也（武田病院） | 現職者講習会 | 精神 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 長岡 まり（介護老人保健施設 野比苑） | 新人教育プログラム | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 菊池 美恵（相模が丘病院） | 新人教育プログラム | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

以前までは助成金(15万円)内で行ってきたため参加費徴収はしていないが、今回民間企業の講師に依頼したため、講師料が高い(5万円不足)ため参加費(県士会会員以外 1,000円、県士会員 500円、学生 0円)の徴収を考えている。

<意見>

浅見：参加費は主に講師代になるのか？

長谷：今までは助成金内で納めてきたが、オーバーしても良い講習会が開催できれば良いのではないか？オーバー分は県士会で負担する方法はどうか？

清水：定員はそのくらいを想定しているか？
参加費の金額の設定にも左右する。

三川：会場は150名から200名くらいは可能と聞いている。

清水：講師は受講人数を何名くらい可能しているのか？

まずは定員を作り予算立てをして検討すべきでは。

会長：参加費をとっても県は問題ないだろう。

長谷：OT以外にも公募するのは、参加人数を確保するためか？

浅見：県からOT県士会に助成している講座にOT以外の入れることは可能か？

田中：県の監査から指摘を受ける可能性はある。

錠内：不足分(5万円)を県士会から会場整備費として補助するというのではどうか？

清水：参加費はあっても良いと思うので、参加費500円で対象は県士会員というのはどうか？

長谷：不足分は県士会が補助するほうが、良いのではないか？

会長：講習会で利益を上げる必要はない。(受講者負担なし)

長谷：助成金がある講習会で収入があることは問題があるのではないか？

浅見：助成の主旨を外れないこと。

企画の段階からもう少し検討すること。

部長が事前に部員に確認をとってほしい。

長谷：参加者は県士会員優先であること。

鈴木：今後、県からの補助がなくなったらこの講座はどうしていくのか？

田中：県からの助成があり、この講座を開始している。今後助成がなくなれば、講座自体を検討していく必要がある。

不足分は県士会から補助する。(補正予算とする)。

講習会の予算を具体的に作成しなおす。

3. 生涯教育制度

・委員会の設立について

ポイントの認定、手帳の管理等の業務が多いため委員会の設立を希望

錠内：委員会設立は総会で承認のため理事会では認められな

| | |
|---------------------------|---|
| <p>地域リハビリテーション推進部(浅見)</p> | <p>い。しかし、學術部の下部組織として部員を増やすことは可能。広報部のように 班という形で今年度はおこなってほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定団体について 「日本リハビリテーション連携科学学会」 神奈川県で開催のため認定団体として依頼がきた。 全国規模の学会でも県で認定し協会に申請する形式となる。 錠内：単発の学会開催では認められない。 浅見：会の規模からすると、OT 協会にあげてほしい。 錠内：OT 協会に意見として提出する。 ・首都圏 OT 連絡協議会（OT 協会で認定されている団体）の案内を Web に掲載してよいか？ 作田：協会で認定されている団体は直接 Web 委員会に連絡で可能 ・新人教育プログラム予定 7月2・3日、7月23・24日 県士会ニュースにて、配布。 7月2日は16時30分から新人オリエンテーションあり 7月3日は財務部会費の受付を行う <p>1.部員 継続 中村 径雄（小田原市立病院） 鈴木 郁子（鶴巻温泉病院） 小林 絹子（れいんぼう川崎） 高田 靖子（れいんぼう川崎） 新規 木村 修（新緑訪問看護ステーション長津田） 井上 亜紀子（鶴巻南訪問看護ステーション）</p> <p style="text-align: right;">承認</p> <p>2.活動計画 第四回訪問作業療法研究会 開催日：9月11日（予定） 場所：鶴巻温泉病院 テーマ：) 入門編 訪問 OT の仕事とは) 中級編 実践で直面する課題</p> <p>第一回地域作業療法学習会 開催日：12月4日か11日（予定） 場所：れいんぼう川崎（予定） テーマ：壮年期脳卒中後遺症者の地域生活支援とは（仮題）</p> <p>第13回 PTOT 地域ケアネットワーク合同研究会 開催日：未定（例年どおり、2月の日曜日1日） 夏以降に PT と調整あり。 なるべく學術部の講習会と重ならないように調整する。</p> |
|---------------------------|---|

| | |
|--|--|
| <p>財務部（長谷）</p> | <p>三川（学術部）：了解</p> <p>1.会費等の管理について 5月24日に事務局近くの横浜銀行に口座を開設し通帳をまとめた。代表者名：錠内</p> <p>2.会費納入について 納入のお願いを各会員の会費納入の状況を添付し発送予定。 Web掲載の承認が取れば、掲載したい。承認</p> |
| <p>法人化対策委員会（鈴木）</p> | <p>6月2日に県の法人担当職員と、情報交換実施した。 民法改正で1年後には中間法人は廃止。 社団法人（非営利団体、公益性）になるためには、公益性がとわれる。</p> |
| <p>3.その他 都道府県 OT 連絡協議会に関して（清水）</p> | <p>新人技術者講習の予算が100万で。学術部で検討してほしい、OT総会までに返事が必要</p> |
| <p>事務局より（錠内）</p> | <p>県士会の名刺が必要な方はメールで作成依頼をしてください 以上</p> |

報告者：野本義則 書記：鳥畑真理子
文責：錠内広之